

《第2期総合戦略の総括》

- 本市では、令和2年3月に戦略を改訂し、第1期総合戦略で掲げてきた取組の方向性と基本目標を維持しつつ、新たな方向性を加えて、大阪経済の活性化や都市魅力の創造・発信、若者や女性の活躍支援、子育て・教育環境の充実、市民生活の安全・安心の確保などに取り組んできた。
- その結果、具体的な施策については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、一部の取組においてやや遅れが生じたものの、数値目標としている指標が改善するなど一定の取組効果が見られることから、基本目標の実現に向けて着実に進捗していると評価することができる。人口もこれまでのところ増加傾向が続いており、大阪の活力を生み出すことができている。今後、これまでの取組をさらに加速化・深化させていくためにはDXの推進が必要である。

第2期の方向性

第1期の方向性

東京と並び日本をけん引する第二極として国内外からヒト・モノ・カネ・情報が集まる魅力と活力あふれる大阪の実現

現役世代、とりわけ若者・女性の活躍促進及び子育て・教育環境の充実と、出生率の増加

誰もが健康でいきいきと安心して暮らし続けられる地域づくり

地域団体、市民、NPO、企業など多様な活動主体との連携・分担

第1期の方向性を維持しつつ

2025年日本国際博覧会の開催も見据え、施策の改善・充実を図る

新たな施策の柱として「環境先進都市大阪の実現」を加えるほか、経済・社会・環境の三側面を統合する取組を実施することで、さらなるSDGsの推進をめざす

「多文化共生のまちづくり」にも取り組むほか、社会経済情勢の変化や国の動向も踏まえながら、スマートシティ戦略の推進を図る

新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえながら、地方創生の取組を総合的に推進する

基本目標 魅力と活力あふれる大阪をつくる

■ 数値目標

<実質成長率>

- ・ コロナの影響により令和2年度は大きく落ち込んだものの、令和3年度には上昇に転じている

<日本人延べ宿泊者数>

- ・ 目標値（令和4年）には至らなかったものの、順調に回復している

<来阪外国人旅行者数>

- ・ コロナの影響により実績値は未測定のため、現時点の評価は困難である

<東京圏への転出超過人口>

- ・ コロナの影響により、人口の移動が抑制されていたが、令和4年には大幅な増加に転じている

■ 具体的な施策の進捗状況

<大阪経済の活性化>

- ・ 全体として概ね順調に推移している
- ・ 引き続き、大阪のビジネス環境の向上やイノベーション創出環境の構築、都市基盤の整備等を進めるほか、大阪・関西万博の開催を契機として、大阪経済の活性化が一層図られるよう取組を進めていく必要がある

<都市魅力の創造・発信>

- ・ いずれの施策も概ね順調に推移している
- ・ 大阪・関西万博の開催を契機とした取組等を引き続き積極的に推進することにより、都市魅力の向上と集客力の強化に努め、地域・経済活性化につなげていく必要がある

<環境先進都市大阪の実現>

- ・ 全体として概ね順調に推移している
- ・ 引き続き、再生可能エネルギーの普及拡大やエネルギー消費の抑制等の推進により「ゼロカーボンおおさか」の実現に向けた取組を進めるとともに、循環型社会の形成に向けた実効性のある取組を着実に推進していく必要がある

基本目標 誰もが活躍できる社会をつくる

■ 数値目標

<合計特殊出生率>

- ・ 女性人口の増に伴い率が下がることとなり、本市における出生数等の現状を適切に反映できないことから、令和4年度からは指標としては使用していない

<保育所等利用保留児童数>

- ・ 保育所等利用保留児童数は目標としていた解消には至っていないものの、待機児童数は概ね解消することができている

<若者・女性の就業率>

- ・ 若者の就業率は、全国平均を上回るが、同程度の水準を維持している
- ・ 女性の就業率は、全国平均を下回っているものの、同程度の水準は維持している

■ 具体的な施策の進捗状況

<若者・女性・外国人等誰もが活躍できる社会の実現>

- ・ いずれの施策も順調に推移している
- ・ 若者・女性が活躍できるよう、引き続き、関係行政機関や経済団体等と連携し、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな就労支援を実施する必要がある
- ・ 引き続き、外国人住民の支援団体等との連携・協働を進めることなどにより、多文化共生の取組を進めていく必要がある

<すべての子どもの成長を社会全体で支える仕組みの充実>

- ・ 全体として概ね順調に推移している
- ・ 引き続き、妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない伴走型の相談・支援や児童虐待の防止などに取り組む必要がある

<子どもや保護者の期待に応える学校づくり>

- ・ 全体として概ね順調に推移している
- ・ 引き続き、全ての子どもたちが力強く生き抜き未来を切り拓く力を備えることができるよう、学力・体力の向上や豊かな心の育成、教育環境の整備などを推進していく必要がある

基本目標 健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる

■ 数値目標

<健康寿命>

- ・ 平成27年から令和3年の健康寿命の伸びは、平均寿命の伸びを上回らなかったものの、健康寿命は着実に伸びている

<街頭犯罪等の認知件数>

- ・ 街頭犯罪等の認知件数は目標値を毎年下回った

■ 具体的な施策の進捗状況

<市民生活の安全・安心の確保>

- ・ 全体として概ね順調に推移している
- ・ さらなる健康寿命の延伸を図るため、大阪市健康増進計画に基づく各取組等をより一層進めるとともに、大阪・関西万博の開催を契機とした市民の健康意識向上などにも引き続き取り組む必要がある
- ・ 住み慣れた地域で安心して元気に暮らせるよう、医療・介護等の連携を強化し、包括的サービスの提供体制の深化等に向けた取組を引き続き進める必要がある
- ・ 安全で安心できるまちの実現に向け、引き続き、地域や大阪府警等との連携を密にした街頭犯罪等の減少に向けた取組や、大規模災害に備えたソフト・ハード両面からの防災力の強化に取り組む必要がある

<地域の実情に即した特色ある施策の展開と地域コミュニティの活性化>

- ・ 全体として概ね順調に推移している
- ・ 地域における公共の担い手拡大に向けた施策や西成特区構想などを引き続き推進する必要がある

第2期大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返り（参考）

基本目標 魅力と活力あふれる大阪をつくる

基本目標 誰もが活躍できる社会をつくる

基本目標 健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる

数値目標

具体的目標	R2 (効果検証)	R3 (効果検証)	R4 (効果検証)	R5 (12月末) (効果検証)
実質成長率 目標値：年平均2%以上 目標年(年度)：令和7年度	-4.2%	2.7%	未測定	未測定
日本人延べ宿泊者数〔大阪〕 目標値：コロナ前の水準2,950万人泊を上回る 目標年(年度)：令和4年	測定期間外	〔令和3年〕 1,754万人泊	〔令和4年〕 2,839万人泊	
来阪外国人旅行者数 目標値：コロナ前の水準の1152.5万人を上回る 目標年(年度)：入国規制解除から2年後 入国規制措置が概ね解除され、国際的な人の往来について感染症拡大前の状況を取り戻した後2年を想定。	測定期間外	未測定	未測定	未測定
東京圏への転出超過人口 目標値：3,445人(平成26年)を下回る 第1期総合戦略策定時 目標年(年度)：毎年	〔令和2年〕 2,106人	〔令和3年〕 2,348人	〔令和4年〕 3,947人	〔令和5年〕 3,998人

具体的な施策の進捗状況

具体的な施策	R2 (効果検証)	R3 (効果検証)	R4 (効果検証)	R5 (12月末) (効果検証)
大阪経済の活性化				
・大阪の強みを活かし、イノベーションが次々と生まれる好循環づくり	概ね順調	順調	順調	順調
・中小企業振興と経済成長の担い手の育成	概ね順調	順調	順調	順調
・2025年日本国際博覧会の開催による大阪・関西の経済活性化及び都市格の向上	順調	順調	順調	順調
・交流人口・ビジネスマーケットの拡大推進	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
・大阪の成長をリードする拠点形成	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
・交通ネットワークや交通環境の充実	順調	順調	順調	順調
都市魅力の創造・発信				
・都市魅力関連施策等による大阪の魅力向上	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
・多様な人材が集い、交流する活気あるまちづくり	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
環境先進都市大阪の実現				
・脱炭素社会の構築	やや遅れ	概ね順調	概ね順調	概ね順調
・循環型社会の形成	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
・快適な都市環境の確保	順調	概ね順調	順調	順調

数値目標

具体的目標	R2 (効果検証)	R3 (効果検証)	R4 (効果検証)	R5 (12月末) (効果検証)
合計特殊出生率 目標値：1.21人(平成25年)を上回る 第1期総合戦略策定時 目標年(年度)：毎年度	未測定	〔令和2年〕 1.17		
保育所等利用保留児童数 目標値：解消 目標年(年度)：毎年度	〔令和2年4月〕 2,884人	〔令和4年4月〕 2,089人	〔令和5年4月〕 2,341人	未測定
若者の就業率(15～34歳) 目標値：全国平均を上回る 目標年(年度)：令和6年	〔令和2年〕 66.6% (全国66.3%)	〔令和3年〕 66.5% (全国67.0%)	〔令和4年〕 68.3% (全国67.5%)	未測定
女性の就業率(15歳～) 目標値：全国平均を上回る 目標年(年度)：令和6年	〔令和2年〕 52.2% (全国51.8%)	〔令和3年〕 51.1% (全国52.2%)	〔令和4年〕 52.3% (全国53.0%)	未測定

具体的な施策の進捗状況

具体的な施策	R2 (効果検証)	R3 (効果検証)	R4 (効果検証)	R5 (12月末) (効果検証)
若者・女性・外国人等誰もが活躍できる社会の実現				
・若者・女性の活躍促進	順調	順調	順調	順調
・多文化共生のまちづくり	順調	順調	順調	順調
すべての子どもの成長を社会全体で支える仕組みの充実				
・切れ目ない支援の充実と幼児教育・保育の質の向上	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
・子ども・青少年の生きる力の育成	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
・児童虐待防止体制の強化	順調	順調	概ね順調	順調
子どもや保護者の期待に応える学校づくり				
R2 R3 ・子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現	順調	順調		
・心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上	順調	順調		
R4 R5 ・安心・安全な教育の推進			順調	順調
・未来を切り拓く学力・体力の向上			順調	順調
・学びを支える教育環境の充実			概ね順調	概ね順調

R4において、大阪市教育振興基本計画の改定の伴い具体的な施策を変更

数値目標

具体的目標	R2 (効果検証)	R3 (効果検証)	R4 (効果検証)	R5 (12月末) (効果検証)
健康寿命 目標値：平均寿命の延びを上回る健康寿命の延び 参考 平成27年(健康寿命) 男性77.14歳 女性82.63歳 (平均寿命) 男性78.87歳 女性86.39歳	未測定	未測定		平成27年から令和3年の延び(健康寿命) 男性+0.46年 女性+0.54年 (平均寿命) 男性+0.70年 女性+0.89年
街頭犯罪等(自動車関連犯罪・子どもや女性への性犯罪)の認知件数 目標値：現状値(令和元年分：4,584件)以下 目標年(年度)：毎年	〔令和2年〕 4,037件	〔令和3年〕 3,708件	〔令和4年〕 3,427件	〔令和5年〕 3,859件

具体的な施策の進捗状況

具体的な施策	R2 (効果検証)	R3 (効果検証)	R4 (効果検証)	R5 (12月末) (効果検証)
市民生活の安全・安心の確保				
・市民の健康増進と暮らしを守る福祉等の向上	概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調
・地域の安全に向けた取組	概ね順調	概ね順調	順調	順調
地域の実情に即した特色ある施策の展開と地域コミュニティの活性化				
・活力ある地域社会づくり	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
・西成特区構想	概ね順調	概ね順調	順調	順調

総括(R2～R5)

〇具体的な施策の進捗状況(令和5年12月末時点)

【全23項目】

- ▶ 順調・・・12項目(52.2%)
- ▶ 概ね順調・・・11項目(47.8%)
- ▶ やや遅れ・・・0項目(0%)

100%